

つなげよう つながろう
ふたさぼのわ



▶つたえる、つなぐ 双葉町展(P2~3)

- ▶双葉町芸術文化団体連絡協議会、美術展示及び芸能発表—双葉町産業交流センター— Part2 (P4~P5)
- ▶ケーキ作りに挑戦!双葉中学校職業体験 (P5) ▶スマイルフォト・情報掲示板(P6)
- ▶町からのお知らせ・双葉町の文化財図鑑(P7) ▶放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・ふたばっこ ぶち(P8)

■発行:双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集:双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>





双葉町の“これまで”と“これから”を思う6日間

3月9日から3月14日までの6日間、双葉町中野地区にある双葉町産業交流センター（略称FIBICC）で「つたえる、つなぐ双葉町展」を開催しました。

この企画展は「ありがとうで綴る震災からの10年と未来へのメッセージ」をテーマに、震災後に双葉町が歩んだ10年を振り返りながら、これからの未来をより多くの人に考えていただけたよう双葉町復興支援員（ふたさば）が企画しました。

会場内は双葉町の「これまで」と「これから」の2つの展示スペースに分かれており、「これまで」を振り返るパネルでは、現在町公式YouTubeチャンネル内で配信されている「ありがとうメッセージ」の一部を抜粋して紹介しました。パネルには双葉町と町民の避難の経緯のほか、町民の皆さんが避難先で受けた数々の支援に対する感謝の思いが記されています。

また、2021年の1月頃から取材先等で収集した「未来」の双葉町へ向けたメッセージでは「双葉弁がそこら中で聞こえる、賑やかな町になってほしい」、「子どもが楽しく暮らせるようになって、伝統が継承されてほしい」といった、ふるさとの明るい未来を望む多くの声に加え、町立学校の児童・生

徒からは「未来の双葉町民とロボットが力を合わせて明るい町づくりをしているといいな」といなど想像豊かなメッセージが寄せられました。

ほかにも中野地区復興産業拠点への立地が決まっている企業や、産業交流センターに同居している企業の復興への取り組みなどを紹介したパネルや、今年で4回目となるフラワーズエールが企画展とともに行われ、「希望の道」をテーマに2万2千個の造花を使用し創作されたインフィオラータ（花絵）が展示されました。

フラワーズエール…

東日本大震災で被災された方々を花で笑顔にする被災者支援プロジェクト。

「笑顔とぬくもりを取り戻そう!!」をテーマに、花でエールを送る活動「Flower's YELL（フラワーズエール）」を世界規模で行っている。



町公式YouTubeで企画展の様子をまとめた動画を配信しています。ぜひご覧ください。

震災から10年 届け続けるフラワーズエール



花絵製作
藤川 靖彦さん

プロフィール

大地をキャンパスに花びらで描く花絵「インフィオラータ」の日本の第一人者で、現在まで国内外300カ所以上で作品をプロデュースしている。

フラワーズエールを始めたきっかけは、震災後テレビや新聞で被災地や避難所の状況を見て、被災地になんとか花を贈りたいと思ったからです。そして被災地に10万本のバラを贈る活動をしよう、その年の4月から始めたのがフラワーズエールという活動です。翌年3月11日には宮城県石巻市で1万本のバラとキャンドルで大きな桜を描いた作品を作りました。それから毎年3月11日に追悼のインフィオラータを作っていくと思っていたところ、ご縁がありいわき市にある双葉町の仮設住宅で町民の方々と一緒に追悼のインフィオラータを作らせていただきました。

インフィオラータはアーティストだけが作るのではなく一般市民の方々と一緒にチームで作品を作る、それが一番の魅力です。完成した作品は人々の心を豊かにしたり、街に彩りを与える、そういうところも魅力だと思います。

今回コロナ禍で双葉町の皆さんと一緒に作品を作ることができなかったのは、僕にとってもすごく残念です。できることなら今年も皆さんと追悼のインフィオラータを作りたいと思いましたが、今回は僕とスタッフで2万2千個の花を使い作品を作りました。皆さんの思いも乗せて作ったつもりです。来年はまた皆さんにお会いできればと思います。



双葉町。とても美しい町。また何度でも来させてください。



双葉町に関わる人達みんなの気持ちが伝わるような展示で良かった。今後も町の復興が進んでいくことを願っています。



中野地区は3年前に来たときはまだ何もありませんでした。双葉の皆さんが色々悩みながらも前に進んでいると感じました。



来場者メッセージ

Message

今までにない新しい双葉町の発展を期待します。



復興に向けて皆さん頑張ってください。

7年ぶりに来ました。震災直後を知っているのが復興が進んでいる様子を見ると感慨深いですが、まだまだ道は長いのかなと思います。



福島県の方々、とても温かい人が多いと感じています。応援しています。

ニュースでしか知らなかった双葉町の現実を少し知ることができて良かったです。



3/5~3/9 絵画部門



新工澄子さん

これは和紙を裂いて、薄めたので紙の上にはって作ったちぎり絵です。一枚ずつ丁寧に貼ることで、コスモスの花や茎などの全体的な濃淡を表現しました。ちぎり絵は、避難先で偶然会った同級生に声をかけられたことをきっかけに続けてきてもう7年近くになります。私はちぎり絵教室で先生をやっているのですが、生徒さんの上達がとても早いので、追い抜かれないように腕を磨く日々です。



石澤喜久代さん

今回の作品は復興の思いも込めて、見た人が元気になれるような明るい絵を描きました。去年はコロナの影響で展示会が中止になってしまい、展示する場所が無いなら絵は少しお休みかなと思っていましたが、今回このような展示会を開いていただけてとてもありがたい気持ちです。もう絵を描き続けて40年になりますけれども、生きている限りずっと絵を描き続けていきたいと考えています。

3/5~3/9 俳句・短歌部門



開発 廣和さん

帰省といえばふるさととの両親や友達に会ったり、懐かしい景色を見に行くような、そういう楽しい気持ちになることですよね。けれど私たち町民にとっての帰省は立ち入りという名前になっていて、ゲートを通らなければいけない。その時の気持ちを俳句で表しました。俳句も短歌も震災前から書いていましたが、被災してからは文字数が多く、自分の心を表現しやすい短歌を書く機会が増えていきます。



半谷 八重子さん

核兵器というのは世界の滅びですよ。とても恐ろしいものだと思います。それでも今は世界中のあちこちで色々な争いが起きていますから、少しでも世の中が平和になりますようにと願いを込めて書きました。五七五七七という決まった言葉のリズムで、自分の感じたこと、心に残っていることを表現する短歌は震災前から続けているのですが、書いているととても奥が深いものだと感じる機会が多いです。

3/12~3/19 刻字・創作部門



泉田 榮子さん

米寿を過ぎても元気であることを目標にいつも頑張っています。健康で長生きするためには、やはり目標や希望を持たないと頑張れないですから。夫と一緒に作品を作って、色々な展示会に出展しています。そこで私の作品を見た教え子たちに、「泉田先生もまだ頑張っているなあ」と思ってもらえたら嬉しいです。これからは先生は頑張りますから、皆さんも元気で頑張ってくださいね。



横山 久勝さん

今回の作品は以前制作したもので、気に入っているものを見繕って出展しました。作品に使っている材料の木は自分で拾ったものや知り合いに譲ってもらったものなど様々で、どんな材質か分からないものも多いです。しかし想像力を働かせて木を削っていくと、どんな木でも美しい模様が見えてきます。自分の美的感覚や五感に訴えてくる美しさを見つけることが、他には無い創作の醍醐味ですね。

双葉町芸術文化団体連絡協議会
美術展示及び芸能発表

双葉町産業交流センター Part2

2月12日から3月28日までの間、双葉町産業交流センター（略称F・B・I・C）にて、双葉町芸術文化団体連絡協議会（芸文協）主催の美術展示・芸能発表が行われました。今回は6月号の引

き続き「俳句、短歌、絵画、刻字、創作」の各部門の作品展示と、2月28日の「標葉せんだん太鼓保存会」、3月28日の「J・A・スマイル大正琴」の芸能発表をご紹介します。



ケーキ作りに挑戦!

双葉中学校 職業体験



2月18日、双葉中学校仮設校舎で職業体験が実施されました。今回はいわき市内の洋菓子店、ケーキランドの高橋勝磨社長と従業員の方々による、職業人としてのこだわりや、日々の仕事で心がけていることが生徒たちに伝えられた後、ケーキづくりをしました。用意されたスポンジケーキに生クリームや鮮やかな赤いイチゴを使って思いの形に飾り付け、「クリームを絞る力加減が難しい!」、「凄いキレイにできた!」、「美味しそう!」と先生や同じ班の生徒同士でにぎやかに話しながら、世界に一つだけしかないオリジナルケーキを作りました。



2/28

標葉せんだん太鼓保存会



栗田和子さん



今回演奏した曲は「稲妻」と「夏」です。双葉町にはなかなか来ることができないので、以前の双葉を思い出しながら演奏しました。

最近はコロナの影響で演奏会が中止になっているうえ、メンバーは皆離れて生活しているので、練習もなかなか出来ない状況が続いています。けれども、また多くの方の前で演奏できるようになることを目標に続けていきたいですね。

3/28

JAスマイル大正琴



江尻京子さん



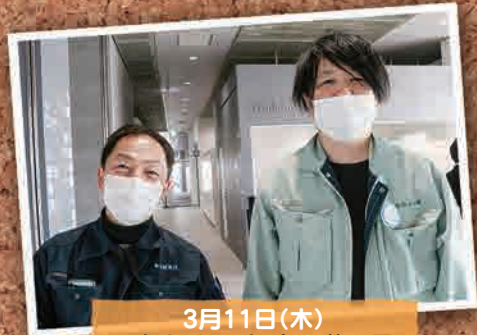
今回は「高原列車はゆく」「珍島物語」「リンゴの唄」「八木節」の4曲を演奏させていただきました。大正琴を演奏する時、いつもこれが最後ではないかと思いながら演奏をしています。今回はふるさとの双葉町で約10年ぶりに演奏することが出来て、もう感謝の気持ちでいっぱいです。これからもコロナの影響はありますが、できるだけ月に2回の練習は欠かさず続けたいと考えています。



ふたばのお スマイルフォト



3月6日(土)
加須市3・11モニュメント除幕式
(加須市)



3月11日(木)
つたえる、つなぐ 双葉町展
(双葉町内)



3月12日(金)
双葉中学校
卒業証書授与式
(いわき市)



3月23日(火)
双葉南・北小学校
卒業証書授与式
(いわき市)



3月23日(火)
ふたば幼稚園・修了証書授与式
(いわき市)



3月31日(水)
町立学校離任式
(いわき市)

自治会イベント

※今後の状況によってはイベントが中止となる場合がございます。

情報掲示板

県北ふたば会(福島市)

いわき・まごころ双葉会(いわき市)

双葉町埼玉自治会(加須市)

4月 (日付未定) ▶ 新型コロナウイルス感染症対策のため、資料送付のうえ紙上総会を予定

4月 (日付未定) ▶ 新型コロナウイルス感染症対策のため、資料送付のうえ紙上総会を予定

4/15(木) または 5/15(土) ▶ 総会 (予定)

自治会、町民グループさまの交流会、イベント情報などございましたら、この掲示板をご活用ください。掲載ご希望の場合は、双葉町復興支援員(ふたさば)までお知らせください。

※3月19日時点の情報です。

お知らせ

ふるさと帰還
通行カード

ふるさと帰還通行カード 原発避難無料措置期間延長 — 令和4年3月31日まで —

原発事故による帰還困難区域等からの避難者に対する高速道路通行料金の無料措置は令和4年3月31日24時まで延長となりました。なお、ふるさと帰還通行カードについては、現在お持ちの青色のカードを継続してご使用いただけます。

※制度本来の趣旨・目的に沿わない利用が確認されていることなどから、制度趣旨に合った適切な利用となるよう令和3年度内に見直しが行われます。



【問い合わせ先】
NEXCO東日本お客さまセンター
ナビダイヤル0570-024-024

情報提供

「相続登記をしないとどうなりますか」

Q 先日父が亡くなりました。実家の土地建物は父の名義です。不動産の相続登記はいつまでにすればよいですか。また、相続登記をしないでとくと、どのようなデメリットがありますか。

A 現行法上、不動産の相続登記に期限はなく、長期間相続登記をしなかったとしてもペナルティはありません。

しかし亡くなった方の名義のままでは建て替えも売却もできないので、いつかは必ず相続登記をしなければなりません。亡くなった直後であれば問題なくできていたはずの遺産分割協議が、時間がたつて相続人同士の関係性や経済状況が変わると円滑に進まなくなることがあります。

また、長期間相続手続をしないうちに相続人がさらに亡くなってしまい相続人が増えた結果、遺産分割協議が困難になったり、相続登記にかかる費用が増大したりするケースもあります。

不動産の所有者が亡くなったら、早めに相続人の間で遺産分割協議を行い、相続登記をしましょう。

ご不明な点は右記までお問い合わせください。

福島地方法務局 ▶ ☎024-534-2045 福島県司法書士会 ▶ ☎024-534-7502



双葉町の文化財図鑑

Vol.3



郡山五番遺跡

所在地 大字郡山字五番・塚ノ腰
時代 奈良・平安時代

郡山五番遺跡は、標高約30mの郡山地区の丘陵上に占地しています。昭和53年(1978)から五回にわたり発掘調査が行われ、一帯が奈良時代、平安時代の標葉郡の役所跡であったことがわかりました。

調査では、事務所風の掘立柱建物跡が十一棟、竪穴式住居跡二十軒、溝跡、土坑が確認されました。土器類は、土師器、須恵器などが見つかりました。また、須恵器製の硯(円面硯)や漆紙(漆でコーティングされた紙)は役所であったことを裏付ける遺物です。大量に見つかった瓦は、税として集められたお米を貯蔵する正倉の屋根に葺かれていたものです。当時、ハスの花をかたどった蓮華文軒丸瓦と唐

草文軒平瓦で屋根が葺かれていたのです。

かつて奈良・平安時代の郡役所があった地域には、郡または郡山と呼ばれる地名が多く残っています。大字郡山もその遺名と考えられています。

郡山五番遺跡は、今後の学術調査で国指定史跡になりうる可能性を秘めており、相双地域の律令期を知るうえで貴重な遺跡です。



▲変形偏行
からくさもんのきまらがわら
唐草文軒平瓦

▲細弁十三葉
れんげもんのきまらがわら
蓮華文軒丸瓦

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和3年3月19日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.12~0.25
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.12
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.07
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.06
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.05
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.04
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.06
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

原子力規制委員会ホームページより

地区	地点	平成24年 4月1日	令和3年 3月19日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.43
新山	新山公民館	—	0.16
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.16
新山	双葉南小学校	—	0.18
新山	双葉中学校	—	0.16
新山	県立双葉高等学校	—	0.20
新山	中央公園	—	0.17
下条	双葉総合公園	2.60	0.57
下条	双葉町役場	—	0.20
郡山	郡山公民館	1.48	0.33
細谷	双葉町仮設処理第一施設北側	—	調整中
細谷	消防屯所前	—	0.66
細谷	細谷公民館	—	0.31
三字	三字公民館	2.53	0.16
山田	山田農村広場	24.47	3.34
石熊	石熊公民館	12.10	1.70
長塚	双葉町体育館	6.25	0.51

地区	地点	平成24年 4月1日	令和3年 3月19日
長塚	長塚二公民館	3.26	0.23
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.22
長塚	町西住宅	—	0.17
長塚	JAふたば北部営農センター	—	2.99
長塚	双葉北小学校	—	0.51
長塚	ふたば幼稚園	—	1.03
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.26
長塚	双葉町児童館	—	0.19
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.32
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.36
寺松	寺松公民館	3.46	0.87
渋川	渋川公民館	1.48	0.33
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.52
中田	中田公民館	0.77	0.15
両竹	両竹公民館	0.54	0.08
浜野	双葉町産業交流センター	—	0.04
浜野	東日本大震災・原子力災害伝承館	—	0.06

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

Futasapo Mini Column

ふたさぽミニコラム

暖かくなってきて散歩するには良い日が続くようになりました。春といえば何が頭に浮かびますか？卒業式、桜…人によって様々な春のイメージがあると思いますが、私の春のイメージは飼っている犬の換毛期です。この頃になると冬の寒さに耐えるためモコモコになっていた犬の毛が抜け始め、夏にはすっかりスマートな体になっていきます。次から次へと毛が抜ける犬をブラッシングしていくと、隣には大きな抜け毛の山が。犬がもう一匹いる!と見間違えそうになる量を一体どこに隠しているのか、毎年疑問に思いながら過ごしています。

平澤麻美

ふたばっこぷち

パパのたいこを見にきたよ!

松永 直人 さん
江里子 さん
(羽鳥)

のあ
松永 堃愛ちゃん
H28年8月生まれ